

<p>草の根活動 交流NEWS</p>	<p>第732号 2025年5月=日 会員数158万3382人 読者数4733人</p>	<p>消費税をなくす全国の会 〒114-0023 東京都北区滝野川3-3-1-201 電話03-3940-0401 FAX03-3949-9885 Eメール snzk90@horae.dti.ne.jp</p>
-------------------------	--	---

参院選

消費税減税を訴える政党に投 68% 財源示せの声も 72%



消費税減税・廃止を求める声がかつてなく広がっています。世論調査(朝日新聞17、18日)では、参院選で消費税を訴える政党や候補者に「投票したい」と答えた人は「大いに」「ある程度」を合わせると68%に上ります。財源については「示すべき」が72%。減税のあり方は「食料品だけ引き下げ」33%、「全品目引き下げ」23%、「消費税廃止」20%で合わせると76%を占めています。会報読者を増やして街頭宣伝に繰り出し、地元議員への要請を強めましょう。

学習会で読者を拡大

福岡の会

福岡県各界連は5月11日、大門みきし参院議員(共産)を講師に招き、「消費税減税大学習会」を開き、230人が参加し、オンラインで視聴・交流しました。学習会の中で会報「ノー消費税」の購読を訴え、読者1人が増えました。

大門議員は消費税減税に必要な15兆円の財源について大企業や富裕層の優遇税制をただすなどの根拠を示し、5%減税から将来廃止に向け、夏の参院選へぜひ実現のために全力で頑張ろうと呼びかけました。

5月16日には「なくす会」単独で初めての街頭宣伝を行い、川端商店街入口で4人が交代で訴え、雨模様の中「ノー消費税」見本誌の配布と消費税5%実現を訴えました。商店にも訪問してリーフレットを渡しました。50代の男性が胸から「選挙に行こう!」と書いたプラカードを下げて近寄ってきました。「一人で行動しているけど、最後は選挙だと考えた」とあきらめず行動する姿に励まされました。今後の定例宣伝も検討中です。

インボイス廃止採択広がる

埼玉の会

インボイス廃止を求める意見書を県議会が採択したことを弾みがつき、埼玉の会は市町村議会への請願・陳情を強め、12自治体がインボイス廃止を意見書を採択しました。埼玉の会は、越谷市議会でも請願採択された運動を学びため、埼東

鳩ヶ谷の共産党後援会の学習会で講師を務めた全国の会世話人の永塚友啓さん。「103万円の壁」について話をしました。学習会には20人ほどが集まりました。永塚さんは話の最後に消費税の問題に触れ、憲法で保障された国民の生存権を守るため、税金は生活費非課税が原則であり、消費税は原則から逸脱していることや、消費税をなくしても大企業や富裕層に応分の負担を求めれば財源は確保できることなどを強調し、「ノー消費税」の購読を訴えたところ2人が読者になりました。

拡大要請に応じて読者を拡大

秋田の会

秋田の会の斉藤栄子さん(全国世話人)から「読者を1人増やした」と嬉しい電話がかかってきました。2、3月の読者拡大要請の電話をもらっていたのに、通院していた夫が4月に入ってから亡くなり、気持ちがあっても動けなかったとのこと。ようやく気持ちが落ち着いたので「何でも読むのが好きだ」という友人に購読を訴え。彼女は「私は消費税減税より廃止がいいと思っていますので、廃止を訴えているいわ新選組がいい

東民主主商工会mれについて話を聞くこうとの経過でさせたいので、「なおさら読んでもらわなくては」と思った斉藤さん。購読してもらうことになって、「話して良かった」と声を弾ませていました。

